

事務事業実施状況及び経営状況 評価シート(令和3年度分)

団体名	公益財団法人静岡市文化振興財団	所管課	文化振興課
基本理念	『魅力ある静岡文化の継承、創造、発信に寄与する』		

《経営計画書 取組状況》

1 事業面における取組状況等 ※進捗状況の数値指標については、95%以上で達成と評価している。

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
指定管理施設の新規獲得 (関係課:文化振興課、生涯学習推進課、歴史文化課)	指定管理施設の維持更新及び新規獲得	目標	—	(更新) ・生涯学習センター等 13施設 (指定) ・静岡市美術館	(更新) ・静岡市美術館 (指定) ・静岡音楽館 ・静岡市民文化会館 (新規指定) ・歴史文化施設	(更新) ・静岡音楽館 ・静岡市民文化会館 (新規指定) ・歴史文化施設	(指定) ・静岡科学館 (新規) ・歴史文化施設
		実績	(指定) ・生涯学習センター等 13施設	(更新) ・生涯学習センター等 13施設 (指定) ・静岡市美術館	(更新) ・静岡市美術館 (指定) ・静岡音楽館 ・静岡市民文化会館	(更新) ・静岡音楽館 ・静岡市民文化会館 (新規指定) ・静岡市歴史博物館	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
取組状況達成に向けた課題等	<p>市民に文化事業を安定的に提供するために、指定管理施設等、活動拠点の維持は必須である。</p> <p>令和3年度は静岡市歴史博物館の新規募集が行われた。指定管理申請の結果、令和4年7月から指定管理者指定を受けた。これらの活動拠点を活用し、市民の期待に応え、より満足度の高い事業を実現することで定款目的の達成に努めていく。</p>						
関係課意見	<p>歴史文化課意見 歴史博物館の設置目的・基本理念に沿って運営方針を定めるとともに、指定管理者として館の使命を達成するための事業方針が明確に示されている。今後、その役割を理解し、これまで培っていたノウハウやネットワークを活かした事業への取組を期待する。</p> <p>文化振興課意見 指定管理者の持つネットワークやノウハウを活かし、幅広い世代に対し文化芸術活動の普及・振興に貢献している。また、施設固有の環境や職員の対応についても高評価が得られている。今後も静岡の文化振興を推進する拠点としての機能を果たすべく、よりよい事業運営を期待している。</p>						

項目				H30	R1	R2	R3	R4		
文化振興事業等の実施 (関係課: 文化振興課 歴史文化課 まちは劇場 推進課 生涯学習推 進課)	文化鑑賞・ 歴史学習事 業	文化鑑賞事業実施数	目標	—	57事業	51事業	(51事業)	(51事業)		
			実績	56事業	57事業	49事業	47事業			
			進捗状況	—	達成 (100.0%)	ほぼ達成 (96.0%)	ほぼ達成 (90.1%)			
		文化鑑賞事業におけ る参加者数	目標	—	223,000人	245,000人	228,000人	228,000人		
			実績	208,005人	247,073人	158,206人	130,081人			
			進捗状況	—	達成 (110.8%)	未達成 (64.6%)	未達成 (57.0%)			
文化振興事 業等の実施	文化鑑賞・ 歴史学習事 業	市民満足度	静岡音楽館 コンサート来 場者満足度	目標	—	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	
				実績	97.4%	97.2%	97.9%	96.6%		
				進捗状況	—	達成 (107.7%)	達成 (108.7%)	達成 (107.3%)		
			静岡市美術 館観覧者満 足度	目標	—	80.0%	85.0%	85.0%	85.0%	
				実績	88.0%	89.7%	95.3%	94.8%		
				進捗状況	—	達成 (112.5%)	達成 (112.2%)	達成 (111.5%)		
			歴史文化施 設観覧者満 足度 (~2020まで はプレ展示)	目標	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
				実績	75.0%	84.6%	78.4%	96.4%		
				進捗状況	—	達成 (105.8%)	ほぼ達成 (98%)	達成 (120.5%)		
		管理施設等での運用 に関する瑕疵による 事故件数(静岡音楽 館(主催事業)、静岡 市美術館の合計)	目標	—	0件	0件	0件	0件		
			実績	0件	1件	0件	0件			
			進捗状況	—	未達成	達成	達成			
		施設瑕疵による苦情 件数(静岡音楽館(主 催事業)、静岡市美 術館の合計)	目標	—	0件	0件	0件	0件		
			実績	0件	0件	0件	0件			
			進捗状況	—	達成	達成	達成			
		(関係課: 文化振興課 歴史文化課 まちは劇場 推進課 生涯学習推 進課)	普及啓発事 業	普及啓発事業実施 数	目標	—	582事業	592事業	(592事業)	(592事業)
					実績	663事業	626事業	504事業	582事業	
					進捗状況	—	達成 (107.6%)	未達成 (85.2%)	ほぼ達成 (98.3%)	
普及啓発事業参加 者数	目標			—	200,000人	215,000人	205,000人	205,000人		
	実績			213,654人	193,917人	71,099人	115,342人			
	進捗状況			—	ほぼ達成 (97.0%)	未達成 (33.1%)	未達成 (56.2%)			
参加者満足度(静 岡科学館)	目標			—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		
	実績			99.0%	99.0%	98.6%	98.9%			
	進捗状況			—	達成 (123.8%)	達成 (123.3%)	達成 (123.6%)			
生涯学習推 進事業	各種講座、講演会 等開催数 (生涯学習セン ター)			目標	—	1,250回	1,250回	1,250回	1,250回	
				実績	1,369回	1,257回	975回	1,238回		
				進捗状況	—	達成 (100.6%)	未達成 (78.0%)	ほぼ達成 (99.0%)		
	まちづ くりに関 する講 座の実 施	シチズンシ ップに富んだ 人材を養成 する3回以 上の連続講 座	目標	—	11事業	11事業	11事業	11事業		
			実績	—	10事業	11事業	11事業			
			進捗状況	—	ほぼ達成 (90.9%)	達成 (100%)	達成 (100%)			
		シチズン シップが身 について人	目標	—	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%		
			実績	—	100.0%	94.1%	99%			
			進捗状況	—	達成 (111.1%)	達成 (104.5%)	達成 (109.5%)			

文化振興事業等の実施 (関係課: 文化振興課 歴史文化課 まちは劇場 推進課 生涯学習推 進課)	生涯学習推 進事業	利用者 及び受 講生満 足度 (生涯 学習セ ンター)	利用者(職 員の対応)	目標	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
				実績	83.8%	96.6%	96.9%	97.7%	
				進捗 状況	—	達成 (120.7%)	達成 (121.1%)	達成 (111.0%)	
			受講生	目標	—	90%	90%	90%	90%
				実績		91.1%	90.9%	91%	
				進捗 状況	—	達成 (101.2%)	達成 (101%)	達成 (101.3%)	
		管理施設等での運 用に関する瑕疵に よる事故件数(生涯 学習センター)	目標	—	0件	0件	0件	0件	
			実績	1件	0件	0件	0件		
			進捗 状況	—	達成	達成	達成		
		施設瑕疵による苦 情件数 (生涯学習セン ター)	目標	—	0件	0件	0件	0件	
			実績	4件	0件	0件	0件		
			進捗 状況	—	達成	達成	達成		
	活動成果発 表の場創出 事業	市民の自発的な文 化学習活動促進事 業数	目標	—	46事業	41事業	(41事業)	(41事業)	
			実績	50事業	50事業	29事業	39事業		
			進捗 状況	—	達成 (108.7%)	未達成 (70.8%)	ほぼ達成 (95.1%)		
		施設利用 者数及 び稼働 率	静岡市民 文化会館 (ホール、 展示室等)	目標	—	520,000人	520,000人	(520,000人)	(520,000人)
				実績	501,296人	442,609人	111,400人	234,948人	
				進捗 状況	—	未達成 (85.1%)	未達成 (21.5%)	未達成 (45.1%)	
			静岡音楽館 稼働率 (ホール、講 堂、リハーサ ル室)	目標	—	70.0%	70.0%	(70.0%)	(70.0%)
				実績	69.0%	63.0%	44.6%	58.9%	
				進捗 状況	—	ほぼ達成 (90.0%)	未達成 (63.8%)	未達成 (84.1%)	
		管理施設等での運 用に関する瑕疵に よる事故件数 (静岡市民文化会館、静岡 音楽館(貸館事業))	目標	—	0件	0件	0件	0件	
			実績	0件	0件	0件	0件		
			進捗 状況	—	達成	達成	達成		
施設瑕疵による苦 情件数 (静岡市民文化会 館、静岡音楽館(貸 館事業))		目標	—	0件	0件	0件	0件		
		実績	0件	0件	0件	0件			
		進捗 状況	—	達成	達成	達成			
担い手育 成・支援事 業		支援育成事業の実施 数	目標	—	32事業	24事業	(24事業)	(24事業)	
			実績	39事業	45事業	22事業	84事業		
			進捗 状況	—	達成 (140.6%)	ほぼ達成 (91.7%)	達成 (350%)		
	生涯学習団体数(8 条認定団体数)	目標	—	1,900団体	1,900団体	(1,900団体)	(1,900団体)		
		実績	1,936団体	1,905団体	1,691団体	1,577団体			
		進捗 状況	—	達成 (100.3%)	未達成 (89%)	未達成 (83%)			

文化振興事業等の実施	連携事業	連携事業の実施数	目標	—	39事業	34事業	(34事業)	(34事業)
			実績	60事業	59事業	46事業	53事業	
			進捗状況	—	達成 (151.3%)	達成 (135.2%)	達成 (155.8%)	
取組状況 達成に向けた課題等		令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、稼働率・利用人数等において当初計画を下回るものとなった。しかし、満足度や事業実施数などについてはほぼ目標を達成できている。また、利用件数等においても回復傾向にあり、引き続き安全を維持しつつ、幅広い利用を得られるよう取り組みを進めていく。						
関係課意見		<p>文化振興課意見 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の中止やそれに伴う施設利用の中止による目標未達成は見受けられるが、感染症の対策については、国・県・市の方針に沿った施設運営や利用者への広報等、適切な時期・方法により行われていた。また、Youtubeを活用し静岡科学館での科学実験を配信するなど、各施設の特性を活かしつつコロナ禍における事業実施に向けた工夫がなされたことは評価できる。今後も、各文化施設の指定管理者として法人の専門性を活かし、市民のニーズに応じた事業の展開に期待したい。</p> <p>歴史文化課意見 静岡市歴史博物館のプレ企画展示については、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた内容の変更・中止はあったものの、駿府城下町と東海道についての展示や、若年層の歴史への関心を高めるため演劇を用いたまちあるきコンテンツ制作のワークショップを実施。今後も、令和4年度にオープンする博物館において、異業種団体等との連携などを行い、静岡市の文化の理解促進に向け継続性のある事業展開を期待したい。</p> <p>生涯学習推進課意見 生涯学習事業(講座等)については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令によって、多くの講座の延期や重症化リスクの高い年代を対象とした事業等の中止等、市と協議のうえ事業計画の見直しを余儀なくされた。代替講座の実施やオンライン講座等の創意工夫によってウィズコロナ・ポストコロナ時代に対応した生涯学習の推進を図っている。 引き続き、指定管理者には、同団体が有するノウハウや、専門性・総合性・地域性といった強みを活かし、生涯学習活動及びまちづくり活動を着実に推進していくよう求めていく。</p> <p>まちは劇場推進課意見 新型コロナウイルス感染症の影響が大きく人を集めることが難しい中で、十分な対策の下、開催することで安全に実施することができていた。 市民参加型舞台公演事業では、年間を通じた演劇ワークショップの開催や発表公演の場を設けることで、障害の有無を超えてあらゆる市民が文化に携わることができる環境を提供した。また、観客へのアンケートでは高い満足度を得られ、バリアフリーとクオリティの両立を達成することができた。 オープンスペースや公共スペースを活用し音楽を鑑賞できる機会を提供する事業では、静岡に縁のある出演者を活用し、市民等が気軽に音楽に触れることで、シビックプライドの醸成やにぎわいの創出に貢献した。</p>						
項目		評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
東京2020文化プログラムへの参画	2020しずおか文化プロジェクトの実施	目標	—	プレ事業実施	実施	実施	レガシー化	
		実績	プレ事業実施	プレ事業実施	プレ事業実施	実施		
		進捗状況	—	実施	実施	実施		
取組状況 達成に向けた課題等		二度の延期を経て、令和4年2月に2020しずおか文化プロジェクト「新文化島～探検・発見・出会いのフェスティバル～」を実施することができた。実施に際しては法人各部署に所属する職員によるプロジェクトチームを組織。職員の交流・活性化・組織理解につながった。指定管理施設を離れて連携事業を開催する当法人初の試みとなった。本事業で得た知見を財団設立30周年記念事業を始めとするプロジェクトに活かしていく。						
関係課意見		<p>文化振興課意見 令和4年2月に実施した2020しずおか文化プロジェクト「新文化島～探検・発見・出会いのフェスティバル～」では、様々な分野の文化事業が同時多発的に実施され、地域及び市民に多彩な文化事業に触れる機会を提供する事が出来た。また、当該事業は多岐に渡る分野の施設を所管する横断的な組織構成及び文化に関する知見やネットワーク等、法人の強みを最大限に活かした横断的な事業として評価する事ができ、組織としての新たな可能性や文化事業における新しい切り口でのアプローチ手法として今後の発展的展開を期待したい。</p>						

2 経営面における取組状況(組織・人材・財政面等)

項目		評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
1	財務基盤の安定化 (関係課:文化振興課)	財務リスクの分析	目標	—	更新	更新	更新	更新	
			実績		更新	更新	更新		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		施設経営計画の策定	目標	—	静岡市美術館	静岡市民文化会館 静岡音楽館	歴史文化施設	静岡科学館	
			実績	生涯学習センター	静岡市美術館	静岡市民文化会館 静岡音楽館	静岡市歴史博物館		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>令和3年度は、新規指定管理施設の獲得に向け、静岡市歴史博物館の財務リスクを分析した。指定管理料と使用料金(観覧料)の併用制であることから、収入面でのリスクは少ないものの、図録販売や事業参加費等の収入確保と施設管理業務等の効果的かつ効率的な執行により安定した施設運営を目指す方針を決定し、施設経営計画に反映させた。</p> <p>策定段階では、市所管課と協議を重ね、課題共有、相互理解を深める機会となり順調な進捗状況である。</p> <p>なお、令和元年度からのコロナ禍が当法人の指定管理施設経営に与えた影響は大きく、この点については、市所管課と逐次情報共有を図ってきた。令和3年度についても指定管理者が不利益になることがないよう静岡市により指定管理料の変更が行われたことは財務基盤の安定化に繋がった。</p>							
	関係課意見	事業実施数及び人員体制の見直しや外部資金の獲得といった、適切な施設運営に向けた取組みが行われている。今後も文化事業の新たな展開を見据え、予算の効率化を期待する。							
	項目		評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
	2	人的基盤の安定化 (関係課:文化振興課)	新採用制度の運用開始	目標	—	検討及び一部運用	検討及び一部運用	策定及び一部運用	運用開始
実績				検討及び一部運用	検討及び一部運用	検討及び一部運用	素案策定		
進捗状況				—	順調	順調	順調		
職員育成計画の策定			目標	—	検討	検討	素案策定	策定	
			実績	—	検討	検討	素案策定		
			進捗状況	—	順調	順調	順調		
取組状況 達成に向けた課題等	<p>令和3年度は、令和4年4月から募集する正規職員採用試験のスケジュール、試験構成を決定した。また、採用後の試用期間等について見直し、規則改正を行い順調な進捗状況である。</p> <p>また、財団の10年後を見据えた職員育成計画については、素案策定及び職員意見の収集まで完了し順調な進捗状況である。今後、職員及び役員の意見を反映し成案化していく。</p>								
関係課意見	新採用制度の導入については今年度も具体的な検討が行われ、高い専門性を持つ職員の確保に向けた環境整備を進めている。また、令和3年度に策定された職員育成計画素案では、職員に求められる役割や知識・能力について明記され、将来的な組織力と職員の能力向上を目指す事としている。引き続き、具体的な取り組みや指標について検討を重ね、質及び満足度の高い事業を実施できる職員の育成に繋がるよう期待している。								

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
組織基盤の強化 (関係課:文化振興課)	市外郭団体の活用及び連携に係る指針に沿ったパートナーシップの強化のための当法人と市所管課の定例的な協議の実施	目標	—	年2回	年2回	年2回	年2回
		実績		年2回	年5回	年5回	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
	事務分掌の整理、体系化による適正な施設ごとの職員配置	目標	—	分析・検討	分析・検討	配置計画の見直し	
		実績		分析・検討	分析・検討	配置計画の見直し	
		進捗状況	—	順調	順調	順調	
3	取組状況 達成に向けた課題等	<p>市とのパートナーシップ強化のため、静岡市職員と当法人職員との人事交流を行った。静岡市職員は、事務局で実施する文化芸術アウトリーチプログラム事業やHotひといきコンサート事業に従事するほか、静岡科学館の各種事業にも従事した。当法人職員は、静岡市文化振興計画新計画策定に係る静岡市文化振興審議会関係事務や羽衣まつり事業等に従事した。文化政策を立案する静岡市とそれを具現化する外郭団体との人事交流により、相互理解の促進及び相互能力の向上に繋がっている。</p> <p>令和2年度と同様に定例での会議実施とはいかなかったが、利用者サービス向上のためのキャッシュレス決済、オンライン配信機材の導入、コロナによる指定管理施設経営への影響、市民文化会館の改修に係る情報共有等も含め、年5回の協議を実施した。</p> <p>また、各施設の適正な職員数については、非正規職員、派遣職員まで含め検討を行い、令和4年度の配置に反映させた。いずれも順調な進捗状況である。</p>					
関係課意見	<p>市とのパートナーシップ強化推進のため、人事交流協定を締結し、令和3年度4月から研修派遣を開始した。市と外郭団体との相互理解の促進・相互能力の向上に向けた取組みが実現できたことは評価できる。引き続き両者の連携体制の強化の推進に向け進めていきたい。</p>						

3 団体の経営状況の総括

財務に関する公益認定基準である財務3基準(収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額)については、いずれも法に基づき適合しており、公益法人として健全な経営状況である。

4 今後の方針／新たな課題 など

令和4年度に静岡市において策定する「第4次静岡市総合計画」、「新静岡市文化振興計画」、「新静岡市生涯学習推進大綱」に即した政策の実現に向け、静岡市のパートナーとしてその具現化に取り組んでいく。特に、ソーシャルインクルージョンの観点から、誰一人取り残さない文化事業・生涯学習事業実施を目標とし、アウトリーチ事業・これまで対象としてこなかった年代や新規層の開拓に取り組むほか、オンライン技術を取り入れた効果的事業実施方法について検討を進める。また、これまで同様に人材育成事業に力を入れ、事業や学びによる成果を社会に還元できる仕組みづくりを行う。これらを通じて、定款目的の達成に繋げていくものとする。

※経営計画書の見直しが必要な場合には、その理由とともにその旨記載してください。

5 市への要望・意見

特になし

6 パートナーとしての市の取組(所管課記載)

当法人の外郭団体方針書における市の役割に基づき、下記の取組みを実施した。

- ・静岡市文化振興審議会を年5回実施し、令和4年度末に策定予定の新たな静岡市文化振興計画に関する検討や、静岡市民文化会館再整備に係る基本構想・基本計画の策定に向けた検討を行った。
- ・長期的な視点に立ち各文化施設の修繕計画を作成・更新し、適宜施設修繕業務を実施した。
- ・市とのパートナーシップ強化推進のため、人事交流協定を締結し、令和3年度4月から研修派遣を開始した。引き続き相互理解の促進・相互能力の向上に及び連携体制の強化を推進していく。

7 所管課による総合評価・意見(所管課記載)

ア 市民サービスの向上

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により感染症対策を実施しながらの事業実施となったが、施設利用者数や稼働率は徐々に回復傾向が見られており、各施設における工夫やきめ細やかな対応が市民の興味関心を高め、コロナ禍における文化事業の普及・継続に繋がっている。市民(利用者)のサービス向上についても職員の接遇のスキルアップや市民のニーズに沿った運営に努め、よりよいサービスの提供を目指しており、来館者から寄せられた意見に真摯に対応している。

イ 効率性の確保

文化施設の指定管理者としてのノウハウやネットワークを活かし、専門的知識を有した職員が直接施設の管理運営に携わり、当法人が指定管理者となっている施設同士の連携事業を実施するなど、市が直接実施するよりも効率的に運営を行っている。

ウ 経営の健全化・安定性の確保

適切な施設運営に向けて事業数の見直しや外部資金の獲得に積極的に取り組んでいる。また、新たな職員採用制度の具体的検討を進めたり、令和4年度の事業規模や職員体制を勘案し職員の適正配置に向けた検討を行っており、当法人の人的・財政的・組織的基盤の確立のための取組みが実施されている。

エ 自主性・自律性の向上

これまで培ってきた文化に関する様々な知見やネットワークを活かし、文化振興のみならず、文化による地域や社会課題への対応についても取り組んでいる。当法人の設立目的を踏まえた独自の施策として実施した「2020しずおか文化プロジェクト」のうちの「新文化島」は、当法人の強み・専門性を活かし、事業が展開されていた。今後も創意工夫に努め、市民が様々な文化に触れる機会の提供を期待する。

オ 市との連携の強化

「しずおか文化を新たに創造していくパートナー」として、3次総「5大構想」に掲げる「歴史文化の拠点づくり」や「まちは劇場の推進」を意識した事業や、指定管理者の持つ経験やネットワークを十分に活かした取組みを積極的に行い、多彩な事業を展開している。また、令和3年4月から、市と外郭団体の相互理解の促進及び相互能力の向上を目指す目的で市職員と当法人職員との人事交流を開始し、当法人との連携をさらに強化している。

次期静岡市文化振興計画では、文化政策において市民と接する最前線を担う「現場」ならではのきめ細やかさを活かし、市民ニーズ及び満足度の高い文化政策を継続的に展開していく事を期待している。今後、市のパートナーとして目指すまちの姿を具現化していくために必要不可欠な存在として、強固な事業推進体制を築いていく事が求められる。

その他、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みとして、昨年度に引き続き市の要請に基づき利用者等に対し適切な時期・方法によって行われたイベント広報や科学実験のオンライン配信など、コロナ禍における事業実施の創意工夫が図られている。

今後も、市民が各種文化に触れる環境の整備と市民自身による文化活動を促進するため、鑑賞者の拡大に加えて文化活動の担い手となる人材の育成に努め、市民自身が「しずおか文化」を創造し、文化活動の担い手として活躍できる場の創出を求めていきたい。